

公益財団法人 プラザ・コム
2020年度 事業報告書
(2020年4月1日～2021年3月31日)

当法人は、活動場所を提供する事により、誰もが暮らしやすい社会や町（福祉コミュニティ・共生社会）を市民の手で作る事を目的としている。

現在当財団が所有し、この目的のため提供する場所として、「宝塚福祉コミュニティプラザ」（宝塚市売布東の町17077.87㎡）がある。このエリア内には、ボランティアが活動する「ぷらごこむ1」、市が運営し子どもたちや高齢者が活動する「フレミラ宝塚」、障害者が働く「こむの事業所」、障害者の生活介護と障害者の余暇活動ができる「ぷらごこむ2」、そして「ガーデニング広場」がある。

また、あるがまま交流活動センター「あるでこむ」の建設が計画されており、市民で構成された「みんなでつくるプロジェクト」によって構想の策定・設計作業が進められている。

以下に、その事業内容を報告する。

1. ぷらごこむ1（3階の建物：2,991.86㎡ 土地面積：2800㎡+駐輪場131㎡）

(1) ぷらごこむ1 概要

- * 1Fを活動スペース(575㎡)として一般市民に提供しており、机とイスが22セット備え付けられているほか、パソコンの利用や印刷を行うことができる。また、これ以外に倉庫とロッカースペースがあり、利用者登録されたボランティアグループが利用している。
- * 2Fには、会議室(10部屋計388㎡)、クッキングルーム(79㎡)、プレイルーム(36㎡)、レコーディングルーム(8㎡)があり、利用者登録されたボランティアグループが利用している。
- * 3Fは、フリールーム(576㎡)として利用者登録されたボランティアグループと一般グループが利用している。

(2) ぷらごこむ1 利用状況

a. 2020年4月5月の緊急事態宣言の期間は臨時休館とした。4月8日～5月31日（通常の休館も含む）

b. コロナ感染予防のための対策をおこなった。

- * 会議室は定員を約1/2にし、パーティションのある部屋は常時パーティションを開けて大きな部屋として使用する事にした。（例 会議室21AB、定員通常54名→24名）
2F会議室は最大24名で、それ以上の時は3Fフリールームを使用してもらう事にした。
- * 1F活動スペースの机の上にアクリル仕切り板を設置
- * 正面玄関にサーマルカメラ（非接触体温計）を設置
- * その他、アルコールを各カ所に設置と、換気の徹底、マスクの徹底を促す。

c. 2階3階、ぷらごこむ1 利用登録グループによる利用状況。

	朝～昼～夕方（9時～18時）							
	2階					別棟 工作室	2階 + 工作室	3階 フリー ルーム
	中会議室 21～24	小会議室 25～27	クッキング ルーム	プレイ ルーム	レコーディン グ ルーム			
2020年度	24.8%	15.8%	1.8%	0.7%	14.8%	39.9%	18.6%	24.1%
2019年度	28.5%	13.0%	8.6%	1.3%	29.0%	35.6%	20.2%	3.9%
2018年度	30.4%	15.8%	12.3%	0.9%	10.9%	36.1%	20.8%	7.2%
2017年度	33.6%	15.3%	12.4%	2.1%	9.9%	35.9%	21.8%	8.7%
2016年度	33.3%	17.3%	14.1%	1.1%	11.1%	36.6%	22.6%	7.3%
2015年度	33.1%	19.0%	14.0%	2.9%	4.1%	36.5%	22.7%	6.2%
2014年度	38.0%	22.1%	17.1%	3.6%	13.6%	39.5%	26.7%	7.7%
2013年度	37.7%	24.6%	17.0%	1.7%	30.3%	36.3%	28.4%	10.9%
2012年度	37.0%	25.2%	17.5%	2.0%	10.3%	34.9%	26.9%	9.4%
2011年度	33.6%	26.2%	16.8%	2.4%	18.1%	44.6%	27.2%	7.8%
2010年度	35.4%	27.8%	19.1%	2.1%	19.6%	46.6%	28.8%	9.6%

部屋の利用率は、各部屋の利用可能全時間に対する利用された合計時間との比率である。

d. ぶらざこむ1利用登録のグループ数、利用件数、利用者数

	朝～夜間（9時～21時）		（3月31日現在）
	利用件数	利用者数	利用登録グループ数
2020年度	1,097件	15,177人	57グループ
2019年度	1,564件	25,650人	56グループ
2018年度	1,624件	29,646人	64グループ
2017年度	1,709件	31,720人	65グループ
2016年度	1,792件	32,135人	71グループ
2015年度	1,828件	32,284人	72グループ
2014年度	2,026件	34,516人	88グループ
2013年度	2,292件	38,505人	100グループ
2012年度	2,201件	38,996人	97グループ
2011年度	2,257件	38,380人	97グループ
2010年度	2,404件	42,419人	102グループ

(3) ボランティアグループのぶらざこむ1利用登録

- * ぶらざこむ1の利用登録は、ボランティアグループが申請書を当財団に提出し、ぶらざこむ1利用登録審査会にて審査される。
- * 登録されたグループは、毎年8月に登録更新を行う。
- * 2020年度登録されたグループ
 - ▶ 更新したグループ・・・・・・・・ 56グループ
 - ▶ 更新しなかったグループ・・・・ 0グループ
 - ▶ 新規登録グループ・・・・・・ 1グループ

(4) こむ1会

ぶらざこむ1は登録グループ等で構成する「こむ1会」によって運営されている。

また、ぶらざこむ1内では利用者によるコミュニティ活動が行われている。

- * こむ1会総会（暫定） ・2020年8月 コロナ対策のため書面総会
- * こむ1会臨時総会 ・2020年12月 書面総会
 - ・暫定の総会で決議できなかった内容
 - ・臨時総会后、運営委員が決定
- * こむ1会フェスティバル/消防避難訓練/大掃除大会等イベントは全て中止

(5) 駐車場受付カウンター

- * 障害者の就労支援活動をする場として、(特非)こむの事業所が駐輪場の受付を行っている。

(6) 1階の宝塚市ボランティア活動センター

- * 宝塚市社会福祉協議会へボランティア活動センターの事務スペースとして提供している。
- * ボランティア活動センターの目的
ボランティア活動に関する情報提供、相談、つなぎ役（コーディネート）、講座や研修会、助成事業の実施のほか、ボランティア保険の窓口、当事者家族の支援

(7) 1階の活動スペース

- * 一般市民の人たちがさまざまな活動のために利用
 - ▶ 利用基準・・・利用の注意事項においてだれでも利用可

(8) 3階のフリースペース

- * 一般の団体が利用
 - ▶ 利用基準を変更・・・社会的課題に取り組む内容である事。（こむ1会にて審査し承認）
（旧利用基準→ボランティアに貢献する内容である事）
 - ▶ 件数・・・・・・・7件 （2019年度・・・1件）

2. ぶらざこむ2（2階の建物540㎡ 土地面積3,727.58㎡ 但しフレミラ宝塚駐車場を含む）

(1) ぶらざこむ2の概要

- * 1F並びに屋外には、多目的室(74㎡)、防音室(20㎡)、倉庫(25㎡)、スポーツ広場(1500㎡)があり、利用者登録された障害者グループが、音楽の練習や卓球、車イステニス等のために利用
- * 毎年「夕暮れコンサート」を開催していたが、当年度はコロナのため中止
- * 2F(270㎡)は、めふプラザ((社福)さざんか福祉会)が、知的障害者の生活介護施設として利用している。

(2) スポーツ広場及び1階の多目的室及び防音室

登録された障害者が、スポーツ及び文化芸術等の活動場所として利用。

a. 登録された障害者グループによる利用状況

* 2020年4月5月の緊急事態宣言の期間は臨時休館とした。4月8日～5月31日

	スポーツ広場	多目的室	防音室	全体(合計)	利用登録グループ数
2020年度	26回	69回	21回	116回	10グループ
2019年度	38回	115回	33回	186回	9グループ
2018年度	46回	124回	30回	200回	11グループ
2017年度	52回	124回	28回	204回	12グループ
2016年度	57回	131回	11回	199回	12グループ
2015年度	134回	212回	128回	474回	13グループ
2014年度	134回	234回	137回	505回	13グループ
2013年度	146回	206回	142回	494回	14グループ
2012年度	157回	210回	123回	490回	11グループ
2011年度	196回	200回	120回	516回	11グループ
2010年度	233回	226回	104回	563回	9グループ

1日を3区分に分け、1区分の利用ごとに利用1回とする。(各区分は、9～13時、13～17時、17～21時)

b. ぷらごこむ2利用者運営委員会

- ▶ 利用者で構成する「ぷらごこむ2運営委員会」が施設の自主運営を行っている。
- ▶ ぷらごこむ2利用者運営委員会 毎月1回 但し、コロナの為開催できたのは6回
- ▶ ぷらごこむ2交流会 コロナの為中止
- ▶ 夕暮れコンサート コロナの為中止

(3) 2階及び1階の部屋(宝塚めふプラザ)

(社福)さざんか福祉会が、障害者の生活介護施設「宝塚めふプラザ」として利用

- ▶ さおり織り、スタンドグラス、組み紐の製作、屋外の清掃作業を行なっている。
- ▶ 1階の部屋は強度行動障害がある利用者の作業場として利用。
- ▶ コロナ渦の為、販売、体験活動が全く行えなかった。
- ▶ 障害者：24名、職員数：7名、アルバイト：3名

3. こむの事業所(2階の建物1,840㎡ 土地面積3,298㎡フレミラ駐車場含む)

1Fは、(特非)こむの事業所が障害者に対する就労支援の場として利用するほか、(特非)宝塚成年後見センターが、成年後見制度の活用・相談事業等を行っている。

2Fは、1Fと同様にこむの事業所が障害者に対する就労支援の場として利用するほか、障害者就労生活支援センター(宝塚市さざんか福祉会に委託)が、障害者等の民間事業所への就労促進を図っている。

a. (特非)こむの事業所

* 障害者スタッフ等の在籍、退職と一般就労(5月1日現在)

(人)

	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
障害者スタッフ	4	14	15	15	19	18	22	19	22	20	23
退職者(年度)			3		4		3	5	2	1	1
一般就労(年度)							2	2	1	1	0
その他支援			2	3	3	5	6	4	4	7	7
正規・常勤職員	1	3	3	4	6	4	4	7	6	8	9
パート(常勤換算)	2	2	6.86	8.5	6.1	7.8	8	13.3	10.3	8.1	7

* 事業収支の推移

(千円)

年度	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
収入	9,062	54,774	75,999	74,651	88,598	93,025	88,214	93,058	110,526	114,253	119,749
支出	14,155	52,129	63,917	73,500	85,592	90,388	91,660	97,685	112,153	110,798	110,832
収支	△5,092	2,644	12,082	1,151	3,006	1,844	△3,446	△4,626	△1,627	3,455	8,917
特開金		3,450	7,050	2,400	2,377	1,185	1,300	1,200	1,200	2,500	2,233

＊ 就労支援事業収入の推移

(千円)

年度	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
レストラン・配食		2,963	4,881	6,852	9,273	12,087	13,049	17,144	21,777	18,390	25,561
給食	4,004	10,606	13,802	13,732	13,357	13,330	13,526	13,288	13,069	10,763	
市場		1,200	4,401	6,175	8,338	8,938	8,374	8,256	16,301	12,692	6,950
パソコン事業				2,409	3,622	4,864	3,050	3,068	1,700	1,274	566
清掃	1,285	7,887	8,065	6,987	10,668	11,902	10,656	12,183	11,203	11,638	14,154
駐車場		6,663	7,033	7,695	7,763	8,068	7,345	7,003	6,816	6,386	4,407
事業収入計	5,289	29,319	38,182	43,850	53,021	59,189	56,000	60,942	70,866	61,143	51,638

＊ 住居支援施設

年度	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
利用延べ人数		0	123	23	54	314	131	552	561	534	634
利用件数		0	4	5	9	4	9	14	8	23	16

b. (特非)宝塚成年後見センター（1階の事務所）

＊ (特非)宝塚成年後見センターが行う高齢者・障害者の法人後見等について、2020年度は面談をはじめ福祉サービス利用支援など1513件の支援サービスを行ったほか16人の法人後見を行った。

c. 障害者就労・生活支援センター「あとむ」（(社福)さざんか福祉会）（2階の事務所）

＊ (社福)宝塚さざんか福祉会が宝塚市の委託を受けて運営する障害者就業・生活支援センターについては、障害者等の就労について、2020年度は5740件の面談による相談を実施し、61人が就職した。

4. 宝塚福祉コミュニティプラザ内の各駐車場

＊ フレミラ駐車場、ぷらごこむ1駐車場を、障害者就労のため(特非)こむの事業所へ管理を委託し、障害者スタッフが受付業務を行った。売上4,407千円(売上は全額障害者スタッフの給与)

5. ガーデニング広場（土地面積 1,924㎡）

＊ 一般市民が利用

＊ 造園や花壇、花づくり等はボランティアグループが行った。

6. フレミラ宝塚の敷地（土地面積 3,871㎡）

a. 老人福祉センター、大型児童センター、子ども家庭支援センター、子ども家庭支援センター、ファミリーサポートセンター、子どもの権利サポート委員会の活動のため、宝塚市が運営する建物である。当財団では当該敷地を無償で提供している。

b. 宝塚市立老人福祉センター

＊ 高齢者の生きがい創造の多様な活動の場となることを目的としている。具体的には219の同好会(書道、絵画、陶芸など)、16の教室(ヨガ、陶芸、囲碁など)の活動が行われ、年間 48,994人の利用者が訪れている。

c. 宝塚市立大型児童センター

＊ 地域児童館を統括し、中高生の居場所づくり、仲間作りの場となることを目的とし、文化活動、学習、運動の場の提供を行っている。年間16,965人の利用者が訪れ、利用団体は42グループにのぼる。

d. 宝塚市子ども家庭支援センター

＊ 子育て支援の中核的な役割を担う拠点として、就学前親子を対象に、居場所の提供、子育て相談お呼び子育てん総合情報誌発行等を実施している。きらきらひろばの利用者数は、年間 6,298人。

e. 宝塚市ファミリーサポートセンター

＊ 「子育て・介護の応援をしてほしい」「子育て・介護の応援をしたい」という人が、お互いを助け合いながら育児・介護の相互援助活動を行っている。活動件数年間(育児) 2,083件(介護) 2,025件

f. 宝塚市子どもの権利サポート委員会

＊ 子ども自身の悩みや心配ごとの相談を受け付けている。相談件数年間344件

7. あるがまま交流活動センター「あるでこむ」の建設

(1) みんなでつくるプロジェクト組織の見直し

- * プロジェクト推進部会の新設（2020年5月より）
 - ▶ プロジェクトマネージャー（PM）・・・金子、熊淵
 - ▶ 部会・・・PM2人と財団の岡本
 - ▶ 役割・・・みんプロの主動

(2) 基本設計の変更

- * 設計事務所において基本設計作業を進めてきたが、今年1月にて財団により変更を決定する。
- * 理由：屋内に作る車路により、経費の増大、車路の危険性、2.5階による設計の制約のため
- * 変更による影響
 - ▶ 設計変更費用の追加：2400万円
 - ▶ スケジュールが延びる。
 - ▶ 基本設計の主動がPMから財団に代わる。

(3) あるでこむ建設準備室「しえあ〜キッチン」

- * 2019年4月 営業態を任意団体から個人営業に変更する。
- * 「あるでこむ」及び共生社会の情報発信 講演会の開催 2回
- * 多様な立場の市民の社会参加体験の場としての役割
 - ▶ 他法人（宝塚NPOセンター、プラムロック、こむの事業所、宝塚市社協等）との連携によって、社会的参加体験の場を必要とする人たちのやめに働く場として提供。
 - ▶ 障害者とボランティアグループによって作られた「うどん」をお店で販売。
- a. 「しえあ〜キッチン」の営業・・・週3日(水)(木)(金)
 - * キッチン営業（2020年1月～12月）
 - ▶ 約4,800食のランチ及び、お弁当の販売。その他、ケーキ、飲み物他
 - ▶ 売上金額 4,438 千円
 - * ホール貸し利用料収入… 19 千円
 - ▶ はるちゃんカフェ… 認知症当事者と介護者の交流を目的としたカフェ 毎月第2土曜日他
 - * 持続化給付金等・・・1,106千円
 - * 当期純利益・・・ 371千円
- b. 社会資源としての役割
飲食店営業の場を活用し、多様な立場の市民の社会参加体験の場としての役割を目指す
 - * 知的障害者とボランティアグループによる「うどん」の提供
 - ▶ 2020年6月以降はキッチンにてうどん作製開始。キッチンスタッフも参加。
 - * 車いす利用者、コミュニケーションが不得手な人等と働く場の環境づくり
 - ▶ 連携先：宝塚NPOセンター、(株)プラム・ロック、こむの事業所、宝塚社協、あとむ他
- c. 「あるでこむ準備室」としての事業
 - * 個人事業経営による経営の体験、実践→経理、雇用・給料支払い等の総務事務他
 - * 共に働く環境づく→働く人のスキルや意欲の向上などの成果が認め合える職場の雰囲気づくり
 - * シェアショップの試行→共同受注窓口加入の福祉事業団体の出店と有人による販売の試行
- d. コロナ対策
 - * 昨年4-5月の緊急事態宣言時、お弁当を除いての閉店
 - * 席数の半減、うどん提供一時中止、お弁当の充実 等

8. その他

宝塚福祉コミュニティプラザ内の作業を、以下の障害者団体へ委託した。

- | | |
|----------------------|----------------|
| * 駐輪場等の草刈り・芝刈り | → 小規模作業所 和み |
| * トイレの清掃 | → 小規模作業所 和み |
| * 玄関・階段・3階フリールーム等の清掃 | → (社福) さざんか福祉会 |
| * 1階ガラスの清掃 | → (社福) さざんか福祉会 |

2020年度事業報告書の付属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項」に規定する、事業報告の内容を補足する重要な事項はないことから、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第123条」に定める、2020年度事業報告書の付属明細書に記載する事項はありません。